

心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告書 記入方法

【検査実施年月】
報告対象の実施年を記入。「年度」で考えても「年」で考えてもどちらでも可。例えば、年度で捉えて平成30年2月の実施にした場合であっても、「729」ではなく「730」と記入。

【事業の種類】
日本標準産業分類の中分類から記入。

【検査を実施した者】
検査を実施した医師等を選択し、記入。「2:事業場所所属の医師」は、例えば支社が本社の産業医に実施してもらった際に該当する。この場合、産業医が同一人物であっても支社が選択するのは「2」、本社は「1」になる。
また、実施者が複数いる場合は、代表者を記載する。例えば、自社に選任の産業医がいても、外部専門機関に委託し、そこに所属の医師を委託先実施代表者、自社の産業医を共同実施者とした場合、「3」になる。

【面接指導を実施した医師】
面接指導(面談)を実施した医師を選択し、記入。面談した労働者がいない場合は、空欄にする。

【集団ごとの分析の実施の有無】
集団分析を行った場合は「1」、行わなかった場合は「2」を記入。

【産業医】
事業場の産業医の所属先名称・所在地を記載、記名押印する。外部専門機関に委託し、事業場の産業医がストレスチェックに関わっていない場合であっても、事業場の産業医が記名押印する。産業医本人の署名であれば、押印はなく署名のみでも有効。

【事業者職氏名】
社名、代表者の職・氏名を記名押印。代表者本人の署名であれば、押印はなく署名のみでも有効。

様式第6号の2(第52条の21関係)(表面)

心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告書

80501

労働保険番号

対象年 平成 年 月 日	検査実施年月 平成 年 月 日
事業の種類	事業場の名称
事業場の所在地	電話

在籍労働者数

検査を受けた労働者数

面接指導を受けた労働者数

検査を実施した者

面接指導を実施した医師

集団ごとの分析の実施の有無

産業医

事業者職氏名

交付印

【労働保険番号】
事業場の労働保険番号を記入。

【検査実施年月】
検査実施年月を記入。複数回にわたって実施した場合や、7～8月といったように複数月に渡った場合は、最終月を記入。例えば、平成29年5月・8月・12月に実施した場合は「72912」、平成29年7～8月に実施した場合は「729 8」と記入(8の前には0は不要)。

【事業場の名称】
社名だけでなく、店舗や工場の場合は店舗名や工場名も記入。

【在籍労働者数】
検査実施年月の末日現在に常時使用する労働者数を記入。(派遣社員は含まない。パート・アルバイトの人数はブログ記事を参照)

【検査を受けた労働者数】
実際に検査を受けた労働者数を記入。1人が複数回受けた場合は1人とカウントする。在籍労働者数にカウントされない労働者が受けた場合は、ここには含まない(週の労働時間が少ないパート・アルバイト等)。

【面接指導を受けた労働者数】
実際に面接指導(面談)を受けた労働者数を記入。

※用紙の印刷に際しては、以下の注意点が挙げられています。

- ・用紙は、白色度80%以上のものであること
- ・Adobe Readerでpdf化したものを印刷すること
- ・拡大や縮小をして印刷しないこと
- ・印刷した用紙を、更にコピーして使用しないこと

※記入する際は必ず黒のボールペンでご記入ください。

※外部専門機関に委託した場合、見本を作成してくれたり、作成を代行してくれる場合があります。

※2部提出のため、すべて記入後、最下段に押印したらコピーを取りましょう。